

誤った道は、赤テープあり、
踏み跡も明瞭。本ルートは
赤テープが分かりづらい。
途中で気づきGPSで確認し、
元に戻った。

赤テープあり
踏み跡明瞭

赤テープ分かりづらい

直進して下るのが
正解に見える

至：棒ノ嶺

600m付近にある道標（登り方向の「棒ノ嶺」のみ指示されている）の場所から、西の尾根（仙岳尾根本体？）にトラバースする道があり、これが正しい登山道となります。

このトラバース道へ誘導するピンクテープがわかりづらく、また、地形図に描かれたルートから、そのまま尾根筋を直進して下るのが正解に思えるのがクセモノです。最初は気づかずにそのまま間違えて尾根筋を下ってしまいました。間違い尾根とはいえ植林作業用のピンクテープも多く、踏み跡も明瞭であるため一旦直進してしまうと、コンパスで尾根の向きを確認するか、GPSで現在地を確認しない限り間違いに気づくのは困難です。（HP参照）

同じような間隔の等高線。同じリズムで下っていると直進してしまうのは分かる。地図の先読みで「トラバース」を意識していないと正しいルートを歩くことは難しい。加えて赤テープの誘惑やしっきりとした踏み跡があれば、なおさら間違いやすい。

道を間違えた場合、「たぶん行けるだろう？」と進む場合が多いが、ここが道迷いと遭難のターニングポイントと言える。